

長野の林業

平成27年3月10日発行
長野の林業編集委員会

No.302

もくじ



特集

緑化運動

全国植樹祭ニュース	2
平成27年度緑化運動	3
長野県緑の基金から	4

トピックス	成城学園との連携	5
	中部森林管理局のニホンジカ被害対策	6
	平成26年度の林業士・指導林業士誕生	7
ナルホド!! 耳より情報	未利用木材生産システム	8
森の元気情報	新長野駅舎が完成	10
	ねばねの里「なごみ」が完成	11
県森連だより		16
長野県の木材市況		20



第67回全国植樹祭ポスター原画表彰式 〈最優秀賞 中村実紘さん（高遠高等学校2年）〉



第67回 全国植樹祭 ながの2016

ひとゆめみどり
信濃から未来へつなぐ森づくり

第67回全国植樹祭基本計画が決定しました

平成27年1月22日(木)に第67回全国植樹祭第4回総会を開催し、審議の結果、第67回全国植樹祭基本計画(案)が承認されました。2月10日(火)に全国植樹祭を共催する(公社)国土緑化推進機構の全国植樹祭特別委員会が承認され、正式に決定しました。

開催概要

- 理念1 植えて・育て・利用する「森林・林業のサイクル」を取り戻そう
理念2 森林や身近な緑の恩恵を、もう一度見つめ直そう
理念3 森林と共に生きる人々の思いを、伝えよう

お手植え・お手播き樹種

天皇陛下お手植え
ヒノキ・ウラジロモミ・コウヤマキ
天皇陛下お手播き
クリ・カラマツ
皇后陛下お手植え
シナノキ・タカトコヒガンザクラ・ミズメ
皇后陛下お手播き
シラカバ・ナナカマド

開催会場

長野県全域をステージとした県民主体・県民参加による広域開催型大会

招待者記念・県民植樹会場



開催規模		
参加区分	参加予定者数	備考
県外招待者	1,250人	国関係者、他県招待者等
県内招待者	2,750人	県議会、市町村関係者、森林・林業・緑化関係団体、公募招待者、県実行委員会等
招待者計	4,000人	
本部員・協力員	1,000人	実施本部員、協力員、出演者、運営ボランティア等
式典行事及び記念植樹参加者合計	5,000人	
県民植樹会場参加者	10,000人	
合計	15,000人	

式典プログラム		
時間(予定)	区分	プログラム
10:20～(40分)	プロローグ	・プロローグアトラクション ・感謝状贈呈 ・長野県の紹介映像など
11:00～(45分)	式典	・開会のことば ・天皇・皇后陛下お手植えお手播き ・記念植樹 ・メインアトラクション ・大会宣言など
11:50～(30分)	エピローグ	・エピローグアトラクション

第67回全国植樹祭「苗木のスクールステイ」「苗木のホームステイ」の募集について

第67回全国植樹祭などで植樹する苗木を学校や家庭などで育てていただく苗木のスクールステイ、苗木のホームステイの参加者を昨年より募集しています。平成27年2月末現在で197校の学校、1万人以上の県民の皆さんから申し込みをいただいておりますが、より多くの県民の皆様にご参加いただくため、募集期間を平成27年6月末まで延長しました。

○募集期間 平成27年6月末まで

○実施内容 全国植樹祭等で使用する苗木を学校や家庭などで育てていただきます。

第67回全国植樹祭飾花用木製プランター製作について

第67回全国植樹祭の式典会場を飾る花の木製プランターカバーを児童・生徒の皆さんに作っていただく参加校(小・中学校、特別支援学校)を募集しています。

○募集期間 平成27年12月28日まで

○実施内容 式典会場を飾る木製プランターカバーの製作

第67回全国植樹祭ながの応援イベントの募集について

第67回全国植樹祭の開催を広く県民に周知し、開催気運を盛り上げていくとともに、開催後も開催理念を継承することにご協力いただけるイベントを募集しています。

○対象 市町村、NPO法人、自治会、企業等が主催し、県内で開催され、第67回全国植樹祭の開催理念に賛同するなどの承認基準を満たし、平成27年4月1日から平成29年3月までに開催されるイベント

○特典 全国植樹祭ホームページでのイベント告知・内容紹介、大会シンボルマーク・ロゴマークの使用、「全国植樹祭だより」や記録誌への掲載、大会啓発グッズの提供、のぼり旗・横断幕の貸出、植樹イベントにおける苗木の提供等

第67回全国植樹祭協賛について

第67回全国植樹祭を成功に導き、多くの方々の心に残る実のあるものにするため、大会運営や広報活動などに協賛いただける企業や団体を広く募集しています。

○協賛の種類 資金協賛、物品協賛、その他協賛(機器等の無償貸与、広告掲示等)

○協賛の特典 式典プログラム、ホームページ、記録誌等で協賛者名を掲載等

○募集期間 平成28年4月30日まで

お問い合わせ先

森林づくり推進課全国植樹祭係
電話 026-2235-7276 / FAX 026-2334-0330
電子メール shinrin@pref.nagano.lg.jp

平成27年度緑化運動がはじまります。

4月1日から5月31日は『緑化推進特別強調月間』です。

この2カ月間は特に県内各地で緑化運動が行われます。

緑の募金活動や緑化活動などの実施について、ご協力をお願いします。

4月以降県内各地域で、緑化に関する多くのイベントが開催されます。

平成28年春に国土緑化運動の中心的な行事である第67回全国植樹祭を長野県で開催するにあたり、苗木のホームステイなど緑化の県民運動を展開しているほか、県内各地で植樹祭や緑の募金活動等の様々な緑化運動が行われます。会場で緑と触れ合ってみませんか。

イベント

期間中、長野県では、毎年「ふるさとの森づくり県民の集い」(県植樹祭)を行っています。本年度は、第67回全国植樹祭の1年前プレイベントとして、5月30日(土)に大町市の鹿島槍スポーツヴィレッジ(HAKUBA VALLEY 鹿島槍スキー場)において開催するほか、県内各地で植樹祭が行われます。緑に親しみ、楽しめる企画を準備していますので、多くの方のご参加をお待ちしています。

また、県内各地で「信州 山の日」に関連したイベントが行われます。こちらも是非ご参加下さい。

街頭募金

4月29日(水)から5月5日(火)は「みどりの週間」です。県内各地で、この期間中、高校生ボランティアの皆さんなどと一緒に緑の募金活動を行います。

また、今年度は多くの参拝客が見込まれる善光寺御開帳にあわせた募金活動も行います。

ご協力をお願いします。



平成26年度富士見町で行われた県植樹祭



映画「Wood Job!」の矢口史靖監督、阿部守一
長野県知事とみどりの少年団による植樹



長野県PRキャラクター「アルクマ」も登場



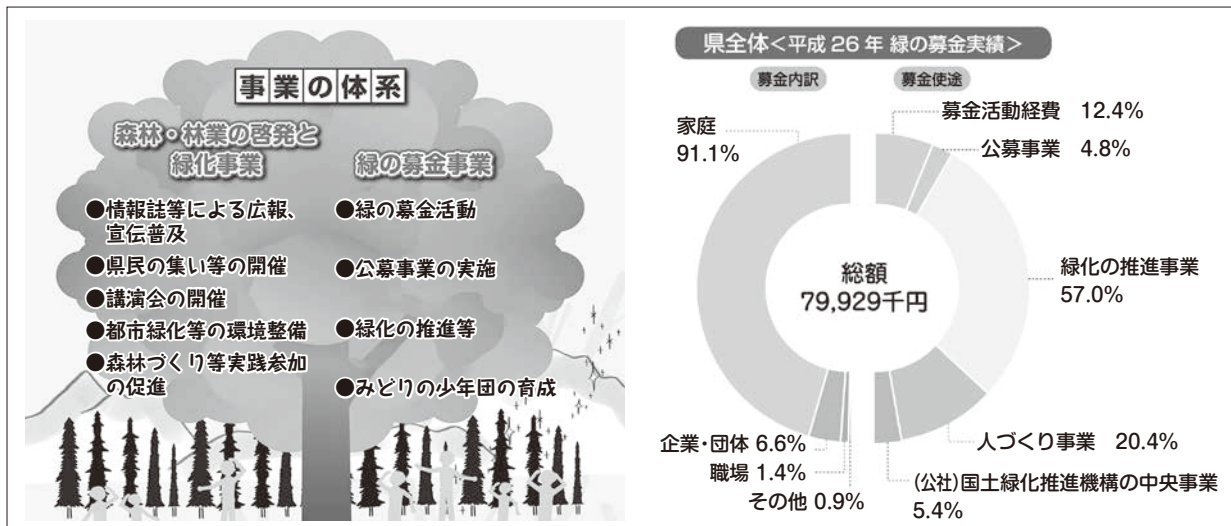
ひと ゆめ みどり
第67回 信濃から 未来へつなぐ 森づくり

全国植樹祭 ながの 2016

長野県 林務部 森林づくり推進課

ふるさと信州に緑の輪を広げよう!

美しい信州の緑や森林づくりのため、「緑の募金」にご協力をお願いいたします。



各地区で開催される植樹祭
緑を増やし育てる



みどりの少年団交流集会
明日を担う子供を育てる

皆様よりご協力をいただきました「緑の募金」は、身近な緑づくり、里山の手入れ、みどりの少年団の育成や指導者研修などの人づくりに活用させていただきました。



平成28年春季に長野県で開催される第67回全国植樹祭を応援します。



■お問合せは

公益財団法人 長野県緑の基金

長野市大字南長野字幅下692-2 長野県庁森林づくり推進課内

TEL026-232-0111 内線4819

FAX026-234-0330

Eメール green@midori-joho.gr.jp

ホームページ <http://www.midori-joho.gr.jp/>



成城学園と長野県との

連携に関する取組

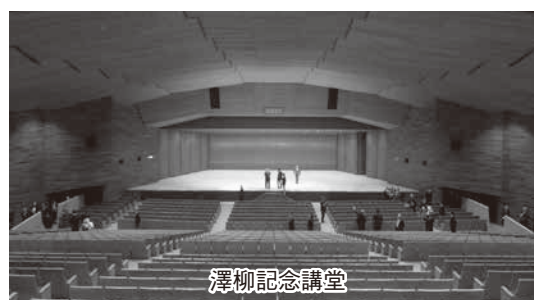
松本市出身の澤柳政太郎氏を創立者とする学校法人成城学園（東京都世田谷区）は、長野県内に校外施設を保有し、「自然と親しむ教育」の実践活動のフィールドとして長野県の自然を活用するなど、これまでも長野県と深い関係を持っています。

2017年に創立100周年を迎える成城学園では、長野県と相互の幅広い連携・交流を深め、豊かな地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的に、平成26年3月14日に連携に関する協定を締結しました。この協定による林務部関係の取組を、3つご紹介します。

一つ目として、成城学園創立者の故郷である松本市所在の入山辺（いりやまべ）県有林の一部（約2.5ha）で、県有林の利活用に関する協定を締結し、ネーミングライツ（命名権）を活用した「成城学園ふるさとの森」を設置しました。こうした形で県有林を活用した教育フィールドを設定するのは、全国初となります。

今後は、成城学園において植樹等の森林整備、環境教育などに活用されます。

二つ目として、学園創立50周年を機に建設された記念講堂が、創立100周年事業の一環として、大幅改修され2月末に竣工しました。改修には信州カラマツ材が39㎡（壁板など約5,500枚）使用されています。こうした都市部の大型教育施設の



内装に、またもって長野県産材が活用されるのは初めてであり、長野県産材がより普及し、利用拡大につながることが期待されます。

三つ目として、校舎等の移築や改築などにより、学園内で伐採される樹木の後継樹の育成（どんぐりによる育苗）や、学園内に現存する100年の森の整備・保全の方法など、本県が有する技術を活かし、成城学園と連携して取り組んでいます。

澤柳政太郎氏の生誕150周年となる2015年に、長野県産材を活用した澤柳記念講堂の落成とともに、「成城学園ふるさとの森」を設置したことを契機に、今後も、幅広い分野での、連携・協力を進めていきます。

【県産材利用推進室】
【森林づくり推進課】

15年春、サントリー金麦「関東甲信越ふるさと応援プロジェクト」

サントリー金麦を1本ご購入につき1円が、関東甲信越の各県に寄付され、長野県においては、豊かな森林づくりのため、県有林の整備に活用させていただきます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

関東甲信越限定 ふるさと応援 寄付型金麦バック 平成27年3月24日発売

注：寄付対象となる製品は「ふるさと応援寄付型金麦バック」のみとなります。



中部森林管理局の

ニホンジカ被害対策の取組



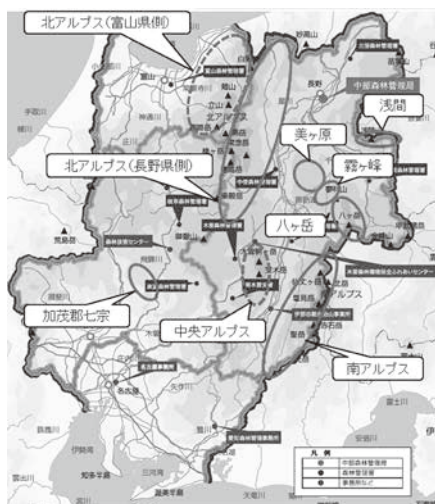
中部森林管理局では、ニホンジカの被害に対処するため、被害の甚大な、長野県内の浅間、美ヶ原、霧ヶ峰、八ヶ岳、南アルプスの五地域で、平成二十一年度から、地方自治体からなる被害対策協議会と連携を図り、生息状況の調査や防護柵の設置、捕獲等の取り組みを行っています。現在、貴重な高山植物を守るための防護柵の延長は一〇kmとなっています。また、ニホンジカの捕獲頭数は平成二十五年度三五六〇頭と前年度に比べ千頭増加(前年度比一三八%)するなど成果を上げています。

本年度から新たに、岐阜森林管理署の加茂郡七宗地域及び中信森林管理署の北アルプス(長野県側)地域において取組を始めました。

加茂郡七宗地域では、まだ、生息状況が把握できていないことから、岐阜大学、岐阜県と協働して、ライトセンサスによる生息調査、植生調査を実施しています。また、七宗町鳥獣被害防止対策協議会と連携を図り、猟友会への委託捕獲、くくりワナの貸出、囲いワナによる捕獲を実施しています。

北アルプス(長野県側)

地域では、環境省、信州大学、地方自治体、森林管理局署で組織する協議会が対策方針を策定し、高山植物のモニタリング



被害対策取組箇所位置図



北アルプス南部で初めて撮影されたシカ
(H26.10.2西穂高岳付近)



防護柵を設置するボランティア
(仙丈ヶ岳馬の背)

調査や、山麓にくくりワナを設置するなどの取組を始めています。中信森林管理署が、西穂高岳に設置した自動撮影カメラにはこのエリアで初めてシカが撮影され、マスコミに取り上げられるなど関心が高まっています。

シカの被害は全国的に広がっており、広域的な対策を講じることが重要となっています。また、本年五月には改正された鳥獣保護法が施行され、ニホンジカ対策も強化されることとされています。中部森林管理局では、生態系の保全と被害を防止するため、関係機関と連携を図りニホンジカ対策に取り組んで行くこととしています。

【中部森林管理局計画課】



くくりワナを設置する南信署職員



平成二十六年 林業士・指導林業士に 認定証書を授与しました

二月十二日に林業総合センター（塩尻市）において、林業士及び指導林業士の認定証書授与式が開催され、九名の林業士と、二名の指導林業士に塩原林務部長から認定証書が授与されました。（本年度認定されたのは下記の皆様です。）

林業士制度は発足から四一年を迎え、今回の認定で県内には五〇九名の林業士が認定され、指導林業士も二六名になりました。地域林業を牽引する中核的リーダーである「林業士」と、地域林業の中核的指導者として、その地域の林業振興に貢献している「指導林業士」の皆様のご活躍を期待いたします。

【信州の木活用課】



【林業士】 黒澤 高幸 小海町 南佐久中部森林組合		【林業士】 瀧澤 尚 岡谷市 平出庭園		【林業士】 小泉 主税 茅野市 自営	
【林業士】 中村 照男 辰野町		【林業士】 伊藤 英典 飯田市 和合森林組合		【林業士】 小笠原 順次 松本市 松本広域森林組合	
【林業士】 上田 一裕 安曇野市 松本広域森林組合		【林業士】 遠藤 照一 安曇野市		【林業士】 寺島 大紀 小布施町 長野森林組合	
【指導林業士】 鈴木 喜一郎 松本市 自営		【指導林業士】 白川 良昌 松本市		表示は【資格】、氏名、住所、勤務先	

未利用木材生産システム

検証事業について

(一部既報：長野の林業No289、H26・2)

はじめに事業の目的

長野県では、広葉樹やアカマツ等これまで未利用であった木材及び林地残材を製材やバイオマス発電に活用し、地域の活性化と健全な森林の維持管理・造成を図るために、新しい木材生産システムを平成二十五・二十六年度に検証しました。

今回、その結果がまとまりましたので、概要を報告します。

新しい生産システムに求めたもの

生産システムは県内の林業事業体から提案を頂き選考しました。その観点は以下のとおりです。安全性は確保されるか、高性能林業機械等を活用し効率が向上するか、他の現場への汎用性はあるか、次代森林へ更新の配慮があるか：等です。

実施・検証した

生産システムとその結果

「松くい虫被害林とアカマツ林生産システム」



現地検討会の状況

平成二十五年度は、松くい虫被害木混交林における皆伐施業、平成二十六年度は間伐施業、どちらも高密度路網配置による車両システムです。導入機械の選定、路網配置密度等で、十分に生産性を高めることが可能と判断されました。伐倒に際して、アカマツは通直なカラマツ等と比較して、重心の偏りや枯損木の幹折れ発生等、難易度が高く安全性向上が課題ですが、追いづれ伐りの実施やハーベスタでヘッドを回転し四方向から鋸断する工夫や、ウインチ付きグラップルによる補助で作業員の安全を確保しました。また、ハーベスタは、枝払い・造材工程でその送材方式により明らかな違いが認められました。ローラー式は幹の曲りや太枝により送材が困難でしたが、ストローク式は、剥皮等が発生したもののアカマツに活用できる可能性が高いことが示されました。松くい虫被害拡大防止に配慮し、林地残材からのカミキリムシ発生を防止するため、両現場とも丁寧な採材により利用率を高め林地残材を少なくし、さらに破碎機によるチップ化や、埋設処理により対応しました。

「広葉樹林生産システム」

両年度ともに、小面積皆伐施業の架線系システムで、平成二十五年度は集材機によるエンドレスタイヤラー、平成二十六年度はタワーヤーダによるランニングスカイラインでした。架線の設置高さが十分に確保できなかったことや、タワーヤーダの機動性が活かせなかったこと等により生産性は低位



ストローク式ハーベスタによる造材



にとどまりましたが、綿密な作業計画と導入機械の選定で、生産性を高める可能性があります。造材では、ローラー式プロセッサは材の曲りや太枝でその能力を発揮できなかった反面、手造材できめ細かく採材し高い利用率となりました。

安全性では、掛り木を抑制するために、伐倒方向を揃え、順に伐倒・搬出する工夫がなされ、表土の切削・攪乱抑制にも寄与しました。また、架線系集材では先山と元山との距離が長くお互いが見えないため、集材機運転手と先山荷掛手が正確で密な情報伝達をすることが安全確保に重要であることが改めて確認されました。

今後広葉樹材を生産する上で、施業地の条件から架線系が主体になると想定されるため、今回の検証で得られた知見を活かす事が重要です。

「林地残材及び松くい虫被害材チップ化(発電利用)システム」

平成二十五年度は列状搬出間伐施業地で、作業道脇に集積した林地残材を破碎機が作業道上を移動しながらチップ化するシステム、平成二十六年度は、大規模な土場で松くい虫被害材をチップ化するシステムとチップの発熱量について検証しました。効率性、安全性の両面から作業ヤードは平坦で十分な広さのある場所で実施することが有効とわかりました。破碎機は、ローターに材や蔓が詰まって



松くい虫被害木のチップ化

停止する不具合が発生するとその処置に多くの時間を要しました。投入する際は、異物の除去や丸太径を選別する必要があるとわかりました。松くい虫被害材から生産されたチップは、発熱量が高く木質バイオマス燃料としての可能性が認められた一方、形状はチップダストに区分される粒度の割合が高く期待した形状で生産できませんでした。使用機械によってもチップ形状が変わるため、目的に合わせた機械の選定が重要とわかりました。生産コストは、破碎機の費用とチップの輸送費が大部分を占め、生産量とも密接な関係があることから事業化に当たっては十分な検討が必要とわかりました。



おわりに今後の展望

二年間にわたり生産システムの実践と検証をしてきましたが、未利用木材生産技術の開発はこれからが正念場です。今後は、各地域の林業事業体が、今回の成果や反省点を現場に反映し、安全で効率的で良質な木材生産を進めるにはどうしたら良いのか、それぞれが創意・工夫を進めることが良い仕事、林業の発展、地域の振興に繋がります。

また、木材の用途・需要は多岐に及び、アカマツ、広葉樹には大量生産だけではない役物需要もあります。今後増加する需要に量で応えていくことはもちろん重要ですが、それとともに、良い素材の生産を心掛ける必要があります。市場動向を把握して採材規格を選定する技術は林業事業体の重要な資産で、林業経営のあるべき姿です。木材の価値を活かしきるために、こうした点にも注視して生産システムを検討することが望まれます。

なお、今回報告したシステムの詳細なデータや提言等をまとめた報告書は、後日長野県林務部より公表されます。

【林業総合センター・信州の木活用課】

杉一万二千本の巨大な大庇・列柱が 新長野駅舎に完成!!

長野森林組合

北陸新幹線金沢延伸開業に合わせて、新しい長野駅舎が完成しました。

頭上をおおうように長くせり出した大庇、それを支える十二本の大きな列柱。

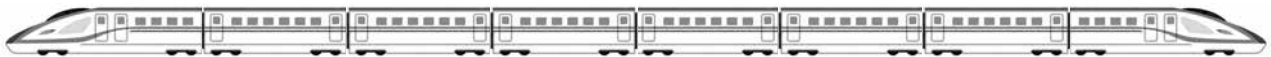
仏閣を思わせるその佇まいは、まさに仏都長野の玄関口にふさわしい駅舎となりました。

巨大な大庇・列柱の空間は来訪客を迎え入れる門の役割に加え、四季・祭事を演出する機能も兼ね備えています。

この大庇・列柱の製造には、すべて地元産の杉が活用されており、地域林業界においてもかつてない、大規模なプロジェクトになりました。

実に一万二千本にも及ぶ丸太が使用されており、材料調達の過程では、健全な森林の整備に欠かせない間伐を、五十ヘクタール以上も進めることができました。

新しい長野駅舎が、豊かな地域森林資源のアピールにつながることを期待しております。



根羽の木材を利用した根羽村高齢者福祉施設 ねばねの里「なごみ」が完成

平成27年2月吉日、根羽村高齢者福祉施設 ねばねの里「なごみ」の竣工式が行われました。

下伊那地域は、県内でも比較的高齢化が進んでおり(31.7%)特に根羽村では49.3%と非常に高い高齢化率になっており、今後、一人暮らしの高齢者や高齢者世帯、認知症高齢者など要介護認定者増加が見込まれています。

こうした中、根羽村では、可能な限り住み慣れた地域で生活を継続できるよう地域密着型特別養護老人ホームをはじめシヨートステイやデイサービスセンターを含む総合型の高齢者福祉施設の整備を平成25年度から着手し、平成26年12月完成の運びとなりました。

このねばねの里「なごみ」は平成25年度木造公共施設整備事業の導入によりシヨートステイ・データーサービス及び管理棟の



竣工式



全景

整備を行い、根羽杉等地元産材を全体の木材使用量の87.5%にあたる212立方メートル使用するなど積極的に地域材を利用しています。(施設全体の木材使用量531㎡の内、県産材使用量487㎡(県産材利用率92%))

また、間伐材や林地残材等の未利用材を有効に活用するため施設の暖房・給湯の熱源として平成25年度県産材供給体制整備事業により木質資源利用ボイラー(薪ボイラー)を導入しています。この施設への薪の供給については、村民の有志により木の駅プロジェクトを立ち上げ村ぐるみでの薪供給システムが構築されています。

この木の駅プロジェクトにより森林内に放置されている林地残材を有効利用して山をきれいにすると共に薪の買い取り代金は村内の商店で使える地域通貨券(ねばね森券)を発行し、地域経済の循環を目指しています。

このほか、同施設の屋根には、パッシブソーラーシステムを搭載し、太陽熱を冬季の暖房、夏季のお湯採りにより浴室キッチンのお湯に用いるなど再生可能エネルギーを積極的に利用した施設となっています。

【下伊那地方事務所】



木質資源利用ボイラー棟



室内



今植えた 小さなその芽が 大きな未来

平成 27 年度
国土緑化運動標語

一般社団法人

長野県林業センター

理事長 大日方英雄 副理事長 勝間田悦明
副理事長 細川 忠國 常務理事 塩入 茂

長野県森林組合連合会

代表理事会長 藤原 忠彦 代表理事専務 滝澤 栄智
副会長 林 和弘 常務理事 安原 輝明

長野県木材協同組合連合会

理事長 細川 忠國 副理事長 勝野 春喜
副理事長 佐原 良彦 副理事長 大久保陸男
副理事長 宮崎 正毅 専務理事 徳原 敏昭
副理事長 都築 透 事務局長 松本 寿弘

長野県林業団体協議会

会長 大日方英雄
副会長 細川 忠國 副会長 勝間田悦明

明日を担う人材を育てる

長野県林業労働財団 長野県林業労働力確保支援センター

理事長 中村 慎

林業・木材製造業 労働災害防止協会 長野県支部

支部長 細川 忠國 専務理事 徳原 敏昭
副支部長 田中 高德 事務局長 大屋 博利

信州木材認証製品センター

理事長 細川 忠國
副理事長 宮崎 正毅 専務理事 徳原 敏昭
副理事長 田中 高德 事務局長 松本 寿弘

(独)森林総合研究所 森林農地整備センター 長野水源林整備事務所

所長 丹保 博人
長野県水源林造林協議会
会長 中村 武雄

長野県治山林道協会

会長 大日方 英雄 役職員一同

一般社団法人

長野県猟友会

会長 赤津 安正

一般社団法人

信州の緑と野鳥を守る会

理事長 大日方 英雄

長野県山林 種苗協同組合

理事長 富澤 修一 組合員一同

一般社団法人

長野県林業 コンサルタント協会

理事長 高坂 宗昭

長野県造林協会

会長 藤原 忠彦

長野県森林組合長会

会長 林 和弘

長野県林業 薬剤防除協会

会長 田中 易



私達も緑化推進運動に協力しています。



育てよう 百年先の 緑の輪

平成 27 年度
育樹運動標語

長野さくらの会

名誉会長 阿部 守一 会長 小林 実
長野市岡田町 30-16 ☎ 026-227-5015

佐久森林林業振興会

役職員一同

上小林業振興会

会長 羽田健一郎

諏訪地域森林づくり ・林業振興会

役職員一同

上伊那山林協会

役職員一同

下伊那山林協会

役職員一同

木曽山林協会

会長 貴舟 豊 役職員一同

松本地域森林林業振興会

役職員一同

大北地域緑化推進協議会

役職員一同

長野地方緑化推進委員会

会長 横川 正知
役職員一同

南佐久北部森林組合

代表理事 佐々木 定男
組合長

南佐久中部森林組合

代表理事 古清水 麻治
組合長

レストラン 四季の味 樹木里

南佐久南部森林組合

代表理事 藤原 忠彦
組合長

緑を育て山を守る

佐久森林組合

代表理事 山岸 喜昭 役職員一同
組合長

緑の担い手

信州上小森林組合

代表理事 大久保 守 役職員一同

諏訪森林組合

役職員一同



今植えた 小さなその芽が 大きな未来

平成 27 年度
国土緑化運動標語

一般財団法人

日本森林林業振興会 長野支部

支 部 長 土 田 薫

長野市大字稲葉 2413-3 ☎026-226-0915

一般社団法人

長野林業土木協会

会 長 勝間田 悦明 役員一同



みどり産業株式会社

代表取締役 池田 正治

本社 長野市稲葉2413-3 ☎026-224-8708

日本林業土木株式会社

長野出張所 所 長 竹内 正比古

長野市中御所岡田町 30-16 ☎026-227-6185

長野国有林森林整備協会

会 長 花見 隆夫 副 会 長 林 和 弘

長野市稲葉母袋沖 612-2

株式会社 長 野 林 友

代表取締役 大屋 孝好

長野市大字稲葉 2413-3 ☎026-226-7741

(株)森林テクニクス

長野支店

支店長 藤原 豊宏

長野市稲葉 2413-3 林友ビル ☎026-269-9131

(株)中部森林技術コンサルタンツ 長野支店



支 店 長 小池 雄二

長野市稲葉中千田沖 2040-2 ☎026-224-8710



KYOSEI

共生機構株式会社

長野営業所

長野市稲葉 2413-3 林友ビル ☎026-229-6610

北信木材生産センター協同組合

会長理事 大日方英雄 代表理事 竹下 元治

長野市大字穂保字中ノ配 342



もりもり上伊那

上伊那森林組合

代表理事 白 鳥 孝 役職員一同
組 合 長



飯伊森林組合

代表理事 林 和 弘 代表理事 古田 芙士
組 合 長 顧 問 役職員一同

信州根羽すぎ・根羽ひのき

根羽村森林組合

代表理事 大久保 憲一 役職員一同
組 合 長 下伊那郡根羽村 407-10

和合森林組合

代表理事 村澤 博光 役職員一同
組 合 長

木曽森林組合

代表理事 神村 光雄
組 合 長

南木曽町森林組合

代表理事 今井 豊
組 合 長



私達も緑化推進運動に協力しています。



育てよう 百年先の 緑の輪

平成 27 年度
育樹運動標語



東信木材センター 協同組合連合会

小諸市甲字鞍掛 4747
☎ 0267-23-0887 FAX0267-22-1293

理事長	大日方 英雄	理事	井出 一彦
副理事長	齋藤 敏	理事	大久保 陸男
副理事長	田中 高德	理事	山岸 喜昭
専務理事	小相沢 徳一	理事	大久保 守
理事	徳原 敏昭	監事	古清水 麻治
理事	星野 勝好	監事	伊藤 晴彦
		監事	松澤 孝

木曽木材生産事業協会

会 長 中島 哲男
木曽郡上松町荻原中島 1579-3



原木運搬 木くずの収集運搬

株式会社 岩船陸送

代表取締役 堀 米 伸 一
配車受付 お問い合わせ専用番号 0269-38-1761

4月の市売りのご案内

本部事務所(製品)	荻原事務所(原木)	坂下事務所(原木)	国有林土場等活用委託販売市売日
花まつり 第41回全木協連優良 国産材製材品展示会 4月25日(土)	春季謝恩市 4月28日(火)	4月 7日(火) 春季謝恩市 4月23日(木)	4月21日(火) 入札物件紹介・入札結果はホームページに掲載 ※本市売は、これまでの木曽地区国有林の公売に代わるものです。

※入札参加資格・入札条件等詳細については下記へお問い合わせください。



木曽官材市売協同組合

ホームページアドレス <http://www.kisokan.com>
荻原事務所：長野県木曽郡上松町荻原中島 1431-1 ☎ 0264-52-2483(代) FAX0264-52-4885
坂下事務所：岐阜県中津川市坂下 133-1 ☎ 0573-75-3178(代) FAX0573-75-3172

理事長 野村 弘
本部事務所：長野県木曽郡上松町正島町 2-45
☎ 0264-52-2480 FAX0264-52-2324

木曽南部森林組合

代表理事 中村 今朝男 役職員一同
組 合 長

松本広域森林組合

代表理事 中村 善行 役職員一同
組 合 長

長野森林組合

代表理事 大日方 英雄 役職員一同
組 合 長

北信州森林組合

代表理事 中山 稿一 役職員一同
組 合 長

損保保険・生命保険代理店・墓石

株式会社 モリレン長野

代表取締役 田中 高德
長野市中御所岡田町 30-16

栄村森林組合

代表理事 桑原 重雄 役職員一同
組 合 長

信州カラマツストーフを公募により寄贈致します。

応募要領等は、(一財)日本森林林業振興会 長野支部 HP で…

URL <http://www.center-green.or.jp/nagano/>



平成27年度 県森連通常総会開催

当会の第78回通常総会が平成27年2月25日に県林業センターにおいて、会員・来賓など多数が参集し盛大に開催されました。

林副会長による開会に続き、藤原会長の挨拶では、一連の補助金



不正受給問題を受け、森林組合系統が林業界に及ぼす影響について危惧するとともに、系統におけるコンプライアンス体制の見直しと構築について再度徹底を図る必要がある旨を述べられました。その後、県林務部・市村敏文信州の木振興課長、中部森林管理局・奥田辰幸局長、参議院議員・若林健太様、衆議院議員・井出庸生様、農林中央金庫関東業務部・岩田正副部長より祝辞を頂き、長野森林組合・大日方英雄組合長を議長に、第1号議案・平成26年度事業報告書等承認についてから第9号議案・役員退任慰労金の贈呈についてまで全9議案が審議のうえ原案どおり承認・決



藤原会長の挨拶



議長の長野森林組合 大日方組合長

定されました。また、本年は任期満了に伴う役員選挙が行われ、10名の理事と3名の監事が当選し、続く理事会、監事会にて、代表理事会長に藤原忠彦氏、副会長に林和弘氏、代表理事専務に滝澤栄智氏、常務理事に安原輝明氏、代表監事に小平榮三氏が選任され、退任役員の挨拶に続き、就任役員の方々から挨拶が行われました。その後系統利用優良森林組合への感謝状の贈呈および永年勤続役員表彰(専任職員21名、技能職員33名)の表彰行事が行われ、受賞者を代表し、長野森林組合・芳川太郎長野支所長代理から謝辞を頂き、総会の全日程を終了しました。

平成26年度 事業報告(総括事項・概要)

塩尻市に大規模製材工場の建設が進み11月下旬から製材用素材の受け入れが開始されたことから、製材用素材の安定供給に係る協定の調印式を行い、長野県木材協同組合連合会、長野県納材協会、木曾官材市売協同組合の4事業体で年間5万㎡のアカマツ、広葉樹、カラマツ、ヒノキ材を安定的に供給することになりました。供給事業体として、体制整備を図り、需要者の求めに応じられるように協力します。

県内では森林経営計画作成の主体となる認定森林施業プランナー



永年勤続表彰の様子

政府の「農林水産業・地域の活力創造プラン」では森林資源の循環利用が重要であるとされています。木材需要の創出、国産材の安定・効率的な供給体制の構築による林業の成長産業化によって山村地域に収入がもたらされることにより、森林のもつ公益機能の維持増進につながるものと考えます。

地域と一体となって森林経営計画を進める主導的役割を果たす認定森林施業プランナーの増員を図り、国・県の政策を実現するため、機械力の増強、現場従事者の拡充

平成27年度 事業計画(総括・概要)

が12名誕生しました。また、当会主催の施業プランナー育成研修会には19名が参加され今後の認定者の増加が期待されます。

森林資源が成熟期を迎え、木材利用へと転換が図られる中で、出された木材を建築材、合板・集成材、輸出材、燃料材、パルプ材、バイオマス材と需要者の要望に対応し、有利販売に結び付け、森林所有者へ還元を図ることを目的とします。

材価について、後半期相場が弱含みに転じましたが大きな値崩れには至らなかったことが幸いし、25万4千㎡の素材丸太を扱うことができました。これも偏に官民一体となって安定供給にご理解とご協力を頂いた賜物と感謝申し上げます。



ご来賓・奥田様



ご来賓・市村様

を進め、労働災害ゼロに近づける安全指導、合法木材確認書の徴求と証明書発行の徹底に努めます。また森林保険制度を推進し、補完的業務の強化に取り組みます。

系統運動「森林組合21世紀ビジョン3rdステージ」が最終年度となることから目標に対するチェック・対策を加え次期系統運動に繋げる道筋を構築するとともにコンプライアンス体制の強化に取り組みます。



ご来賓・岩田様



ご来賓・井出様



ご来賓・若林様



長野森林組合芳川氏による謝辞



永年勤続(技能職員)被表彰者名簿		
勤続年数	組 合 名	氏 名
30年以上	北 信 州	渡 辺 正 行
25年以上	木 曽 南 部	阿 寺 敏 夫
	大 北	小 林 章
20年以上	南佐久北部	佐々木 義治
	南佐久北部	島 崎 次 男
	佐 久	大工原 裕幸
	佐 久	田 辺 治 夫
	佐 久	佐 藤 英 二
	信州上小	山 田 昌 志
	信州上小	田 中 由 夫
	諏 訪	小 早 瀬 浩
	木 曽	鳥屋窪 兼弘
	木曽南部	西 尾 清
	長 野	渡 辺 澄 男
	長 野	原 弘 明
	北 信 州	高 山 浩
10年以上	南佐久南部	井 出 正 明
	南佐久南部	中 山 浩 巳
	信州上小	山 宮 孝 雄
	諏 訪	熊 谷 信 也
	諏 訪	中 島 嘉 彦
	飯 伊	下 沢 和 巧
	飯 伊	杉 田 信 明
	飯 伊	橋 本 大 作
	飯 伊	上 原 優 太
	飯 伊	河 尻 敏 和
	根 羽 村	石 原 稔 明
	木 曽	長 谷 川 玲
	木 曽	田 口 義 幸
	木 曽	名 小 路 健
	木 曽	黒 木 久 二 夫
	長 野	小 川 真 司
	長 野	野 平 大 介

系統利用優良森林組合感謝状贈呈名簿			
《木材販売事業》		《購買事業》	
松本広域	森林組合	信州上小	森林組合
長 野	森林組合	松本広域	森林組合
北 信 州	森林組合	長 野	森林組合
上 伊 那	森林組合	飯 伊	森林組合

永年勤続(専任職員)被表彰者		
30年以上	佐 久	古 越 修
	上 伊 那	小 林 義 人
	長 野	芳 川 太 郎
	長 野	小 林 薫
	栄 村	斉 藤 み どり
	県 森 連	中 谷 勝
25年以上	県 森 連	林 信 一
	佐 久	水 石 公 夫
20年以上	信州上小	高 井 紀 和
	松本広域	勝 山 崇 史
	大 北	島 津 昌 俊
	大 北	多 田 千 枝 子
	長 野	丸 山 和 範
	栄 村	藤 木 悦 子
	県 森 連	櫻 井 肇
	県 森 連	土 屋 泰 幸
	県 森 連	遠 山 尚 樹
	県 森 連	馬 場 利 明
10年以上	飯 伊	島 田 か おり
	北 信 州	荒 井 俊 作
		関 真 一

長野県森林組合連合会 役員名簿													
監	監	代表 監事	理	理	理	理	理	理	常務 理事	代表 理事専務	副会 長理事	代表 理事会長	区分
事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	学	飯	南佐久南部	所属組合
栄	南佐久北部	諏訪	上伊那	野北	松本広域	南木曾町	信州上小	学識経験	学識経験	伊		氏名	
村	桑原 重雄	佐々木 定男	小平 榮三	中山 晶計	関野 文夫	嶺村 和徳	中村 善行	今井 豊	大久保 守	安原 輝明	滝澤 栄智		林 和弘

皆伝！刃物の極意

第七話

山林道具の刃物「鋸」

株式会社 大崎商店

代表取締役 大崎久雄

最近の鋸は良く切れる。切り目が荒いのに木の切り口は、鉋で削ったようにきれいな木肌になる。鋸のアサリ(左右の振り分け)は、板の厚さでとるといふ。つまり、鋸刃の峰の方を薄く刃の部分は厚くして、その中に切れ目を入れるのである。切り口のなめらかさは枝打作業に適していたのかもしれない。が、しかし、使っているうちに驚くほど急に切れ味が落ちてしまう。旧来の鋸(今も製造している)は、穏やかに、たわやかに、切れ味が落ちていくというのに――

近年、この画期的な鋸が作られるようになったのは、ホラゾンホイールというダイヤモンド砥石を使い、刃を刻み、自動で歪みを取り、腰入れ作業を施し、一万ボルトという高電圧にて、ほんの数秒、衝撃焼入し表面に高硬度な刃先を作るのである。Z社は、大工鋸としては、革命ともいえる替刃式鋸を作ったのである。大工さんの間でも大ヒットとなり今に至るのである。

長野の八ヶ岳の麓、茅野、ここは鋸の産地でもある。ここに田中米吉さんという手打鋸



森林経営計画情報交換会開催

平成27年2月16日に安曇野市もくりゆう館において、森林経営計画情報交換会(主催：県森連)が開催されました。

この会は、長野県全体の森林経営計画策定・実行体制を一層強化し、策定率の向上を図るため、森林施業プランナー、集約化担当者および森林総合監理士等による連携を深めることを目的として開催されました。

当日は、森林組合、民間事業体のみならず、県林務部、各地方事務所、中部森林管理局より50名を超える参加を頂き、

- ①「森林経営計画の進捗状況について」(県林務部)
- ②「官民連携による森林整備について」(中部森林管理局)

- ③「森林経営計画優良事例の報告」(北信州森林組合・信州上小森林組合)

- ④「組合経営における森林経営計画について」(飯伊森林組合)

- ⑤「森林経営計画の作成状況情報交換 & グループワーキング」

これまで当会が実施してきた集約化関連の研修会等のなかで、森林組合・民間事業体だけでなく行政の方々も含めたグループワーキングは初の試みでしたが、それぞれの地域、立場を超えた活発な議論が繰り広げられました。



飯伊森林組合林和弘組合長による講義



課題発表で浮かんだ疑問点にも行政の方にその場で答えて頂きました。



地域・立場を超え課題に取り組む参加者

の名工がいる。米吉さんに、「何故大工の皆が替刃鋸にしないのですか？」と質問したところ、間髪いれず「切れすぎる」と言うのである。話はこうである。特に神社仏閣を建築するにあたり、木口を切った時、ツルツルに切れてしまうと、乾燥時に割れが入ってしまう。旧来の鋸であれば、木口は多少ギザギザになり、空気中の湿気(水分)を吸ったり吐いたり呼吸することにより、木の寿命を延ばすのである。

伝統的な道具が、生き続けているのには、明らかな理由がある。例えば、大工さんの多くは、自動鉋を使う。精度も上がり、超仕上にもなるという。しかし、削った木の表面を拡大してみればザラザラである。木の表面は出来るだけ艶を出したいのである。そのためには、ヒノキを台鉋で削った時、より薄い鉋屑を要求される。これは大工の腕のみせどころである。木の内部に潜んでいるオイルが削られると瞬時に木の表面を覆い包むのである。自然塗料を研究している先生が、「木には何も塗らないのが最高の塗料である」と話すのはこのことも知れない。

木の寿命は先人達の知恵であったのである。法隆寺の大改築にあたり、西岡常一氏は、全国から集まった大工職人に一部槍鉋を使わせたのである。槍が少し反った様な鉋である。木の繊維を自然のまま、すべらせて美しい木肌を作る。日本の気候をも考えた技術である。飛鳥の時代に建築が完成されていたとしても、決して過言でありますまい

長野県の木材市況

第 949 回 市売市況表

(平成27年 2月 18日実施)

長野県森林組合連合会 伊那 木材センター

Tel.0265-72-2684

Fax0265-76-8759

○ 強気配 ― 保合 △ 弱気配

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/㎡)	中値 (円/㎡)	気配	備考
すぎ	3.0	直	16～18	13,000	11,000	○	柱材応札多く活発 20cmから22cm4.0m造材にして ください
		直	20上	11,000	9,000	○	
	4.0	直	22～28	15,000	12,000	○	
		曲	14～18	6,000	4,000	△	
		曲	20上	8,000	6,000	△	
槐	3.0～4.0	元	22上	28,000	20,000	○	造材を丁寧にして下さい
朴	2.0～4.0	込	30上	19,000	16,000	○	
楷	4.0	直	30上	26,000	14,000	○	
桜	3.0～4.0	込	36上	110,000	35,000	○	
からまつ	4.0	直	14～18	10,000	8,000	－	応札活発
		直	20上	14,000	12,000	○	
		曲	14～18	8,000	6,000	－	
		曲	20上	11,500	9,000	－	
あかまつ	4.0	曲	18～22	8,000	6,000	△	弱気配の中太物に高値
		曲	24～28	10,000	8,000	△	
		直	40上	26,000	17,000	△	
ひのき	3.0	直	16～18	19,000	13,000	△	並材価格下降気味
		直	20上	18,000	13,000	△	
	4.0	直	16～18	20,000	17,000	－	
		込	20～28	25,000	18,000	－	
		曲	14～18	9,000	6,000	△	
		曲	20上	10,000	8,000	△	

出品量1285㎡ 販売量1268㎡ 落札率98% 買い方 45社

寒波の影響もあり足元の悪い中出荷者の方々には出品頂き職員一同お礼もうしあげます。少ない中広葉樹の良質材の出品もあり高値で取引され活気ある市売でした。今後も作業には十分気を付けてお願いいたします。有利販売のためにも樹皮が剥けないように、木口に泥等は付けずに丁寧な造材を心掛けるとともに樹種混載での出荷は当センターでの仕分け作業に手間がかかり、市売りへの出品が遅れますのでご了承下さい。尚、合法認定事業者の登録をお願いするとともに出荷時にはその都度(合法認定番号および合法木材であるコメントを記載した内容の納品書の提出をお願いします。

第983回 市況表

(平成27年2月17日実施)

長野県森林組合連合会 北信木材センター

Tel 026-295-5546 Fax 026-295-5547

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/㎡)	中値 (円/㎡)	備考
すぎ	3.0	直	16～18	13,500	9,000	直造材での出品下さい。
		直	20上	12,000	10,000	直造材での出品下さい。
	4.0	込	8～13	5,500	4,300	
		直	14～20	13,000	9,600	出品お願いします。
		直	22～28	14,000	11,000	応札活発出品をお願いします。
		直	30上	18,000	12,000	応札活発出品をお願いします。
		曲	14～18	5,200	4,000	
		曲	20上	8,200	7,000	
	5.0	直	30～42	18,300	11,000	
		込	6～13	11,000	6,000	細物直造材を心がけて下さい。
からまつ	4.0	直	14～18	12,500	8,500	応札活発出品をお願いします。
		直	20上	17,000	11,000	応札活発出品をお願いします。
		曲	14～18	6,500	5,000	
		曲	20上	12,000	9,000	
ひのき	3.0	直	16～18			
		直	20上			
	4.0	直	16～18			
		直	20～28	20,000		
		直	30上	28,000		
		曲	20上	18,000		

出品量 3,006 ㎡ 販売量 2,781 ㎡ 買い方 40 社

積雪の中御出品頂きましてありがとうございます。すぎ、からまつの太目良材に高値集中し活気ある市売でした。からまつ太目材引き合い強く、引き続き御出品頂きたく願います。くりの木材について、大量の引き合いがありますので、該当材がありましたらセンターへ御一報頂きたく願います。立春を迎えたとはいへ、積雪、凍結等により作業環境は未だ厳しい中かと思いますが、引き続き安全作業にてお願い致します。木材利用ポイント制度を活用される需要者のため、合法認定事業者の登録をお願いします。又出荷時にはその都度必ず「合法認定番号及び「合法木材である」コメントを記載した内容の」納品書の提出をお願いします。

第952回 市売り市況表

(平成27年3月5日実施)

長野県森林組合連合会 中信木材センター

Tel 0263-77-2347 Fax77-2349

樹種	長さ (m)	規格	末口 (cm)	高値 (円/㎡)	中値 (円/㎡)	備考
すぎ	3.0～4.0	直	14～18	12,000	7,000	3.0m×14～18cm柱取り引合 いあります。 20cm上は4.0m造材してくだ さい。
		直	20～40	30,000	10,000	
ひのき	3.0	直	14～24	23,000	14,000	値段横ばい。
	4.0	直	18～24	25,000	15,000	
	4.0	元	30～40	35,000	23,000	
からまつ	4.0	込	6～13	10,000	8,000	応札活発。
		直	14～30	13,500	8,000	
		曲	20上	11,000	7,000	
あかまつ	4.0	直	20～34	20,000	12,000	
	4.0	元	30～52	30,000	16,000	
	5.0～12.0	元	30～54	45,000	18,000	
ほう	3.0～4.0	込	16～40	28,000	15,000	広葉樹、応札活発ご出品下さ い。
樺	5.0～6.0	一本 まき	50～80	710,000	140,000	
くり	3.0～4.0	込	16～44	65,000	15,000	
くるみ	2.0～4.0	込	10～36	35,000	12,000	

出品量 2,885 ㎡ 販売量 2,400 ㎡ 落札率 83 % 買い方 50 社

アカマツの良材、広葉樹に応札が多く、また久しぶりに70万円台の札もあり活気ある市売となりました。低質材も含め全般に荷動きがみられます。土場の下ろし場も空いておりますので引き続き出荷をお願いします。尚、当連合会は合法木材に取り組んでおります。合法木材供給事業者の認定を取得し、出荷時には合法的に伐採された木材であることのコメントと合法木材認定番号が記載された納品書の提出をお願いします。

第460回 木材共販市況表

(平成27年 2月 19日実施)

出品量 1,800m ³ ・ 買い方 15社 ・ 落札率 98.0%			飯伊森林組合木材共販所			
樹 種	長さ	末口径 cm	高 値 円	平均値 円	平均石値 円	備 考
ひ の き	2.0	18 ～ 44	25,000	15,000	4,200	
	3.0	直 14	11,000	9,000	2,520	
		元直 16	18,000	15,000	4,200	
		込 18 ～ 22	18,000	15,000	4,200	
		込 24 ～ 36	22,000	16,500	4,620	
		中込 16 ～ 22	16,000	15,500	4,340	
		込 24 ～ 28	17,000	16,000	4,480	
		元 30 上	28,000	20,000	5,600	
	4.0	元直 16 ～ 22	17,000	15,000	4,200	
		元 24 ～ 28	28,000	21,000	5,880	
		30 上	45,000	35,000	9,800	
		中直 12 ～ 14	9,000	8,000	2,240	
		込 16 ～ 22	18,000	15,000	4,200	
		込 24 ～ 28	18,000	15,000	4,200	
		6.0 直 18 ～ 22	28,000	23,000	6,440	
	直 24 ～ 28	24,000	20,000	5,600		
	4.0	12下	360	300	一本売り	
す ぎ	4.0	込直 16 ～ 18	10,000	8,000	2,240	
		込直 20 ～ 22	10,500	9,000	2,520	
		24 ～ 28	12,500	10,000	2,800	
		30 上	17,500	15,000	4,200	
	3.0	18 ～ 22	9,000	7,500	2,100	
	3.0	24 ～ 32	9,500	8,000	2,240	
か ら ま つ	3.0	直 14 ～ 22	5,000	4,500	1,260	
	4.0	込 12 ～ 14	5,500	5,000	1,400	
	4.0	込 16	6,000	5,000	1,400	
	4.0	込 18 ～ 28	11,500	8,000	2,240	
	4.0	直 30 上	13,500	8,500	2,380	
	4.0	小曲り 14 ～ 30	4,500	2,500	700	
	4.0	直 12下	360	270	一本売り	
あ か ま つ	4.0	22 ～ 28	12,600	10,000	2,800	
	4.0	30 ～ 38	13,000	12,000	3,360	
	4.0	40 ～ 44	18,500	15,000	4,200	
	5.0	38 ～ 40	20,000	13,000	3,640	

総 評

ひのき、出材少なくやや価格上昇。欠点材には応札なし。

すぎは、良材少ないものの、やや価格上昇。

からまつは、価格横ばい。あかまつ出荷量増え引き合いあり価格上昇。

引き続き丁寧な造材を心がけてください。